

# 「もったいない」の意識をもう一度!

## 未来へつなごう ごみをつくらないライフスタイル

ごみ減量とリサイクルの推進には、市民や事業者の皆さんの協力が必要です。ごみを減らすための一人ひとりの工夫やひと手間が、ごみ問題解決につながる糸口になります。「ごみを発

生させない」「ものを再使用する」という2Rを意識してみてください。

☎ごみ対策課(531)5517

### 市民の皆さん ライフスタイルの転換を

生活を少し見直すだけで、ごみは大幅に減らすことができます。次のようなライフスタイルに変えてみましょう。

**生ごみは水を切って捨てる**

**繰り返し使える容器、詰替商品を使う**

**買い物は計画的に**

**食べ物は残さず食べる**

**レジ袋はもらわない**

### 小売店の皆さん ごみ減量で クリーンな事業所に

ごみ減量には小売店の皆さんの力も必要です。ごみを出さない企業に生まれ変わってイメージアップにつなげませんか。

#### ●取り組んでいただきたいこと

- 消費者への情報提供
- 消費・賞味期限切れの廃棄物を削減する販売管理
- 繰り返し使える容器、詰替商品の販売促進

### 燃やせるごみの組成分析



燃やせるごみの質や分別状況を確認するため、定期的に組成分析調査を行っています。調査は収集地区による傾向などを検証するため、各地区の収集日に実施しています。

#### 分析の方法

▶収集車数台から無作為に約100kgの燃やせるごみを取り出す ▶職員が袋を開け、燃やせるごみの中身を「生ごみ」「紙類・布類」「プラスチック類」「不燃物」「その他可燃物」に再度分別 ▶分別したものの確認、重量測定などを行い、ごみの傾向を確認



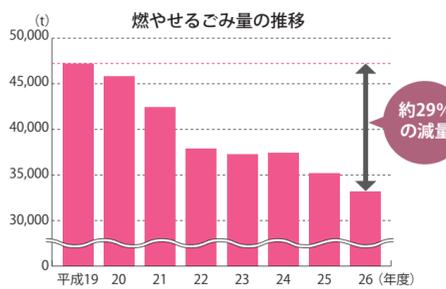
#### このようなものも混入

家庭ごみの中に、缶や事業所から出たと思われるごみも混入しています



### 燃やせるごみの排出量

市民、事業者、市が一体となってさまざまな取り組みを行った結果、平成26年度は平成19年度比で約29%、燃やせるごみの減量ができました。今後も市民、事業者の皆さんと協働で「燃やせるごみ減量50%」を目指していきます。ご理解とご協力をお願いします。



### SOS ▶プラスチックは必ず汚れを取って

収集されたプラスチックはリサイクルの過程で圧縮され、サイコロ状に成形されます。食品などの中身が入ったままの状態では、つぶされたときに周りのプラスチックまで汚れてしまいます。



圧縮されたプラスチック

平成27年度に行った日本容器包装リサイクル協会による容器包装プラスチックの品質検査では、圧縮されたプラスチックから、食べ残しや未洗浄、未開封の容器が多数発見されました。

### プラスチックに混入しやすい異物

#### 電池類

◎有害ごみ  
「有害ごみ」と書いて45リットルまでの透明または半透明の袋に入れる



ねじやばねのついているおもちゃ、金具のついている洗濯ばさみ、歯ブラシなど  
◎燃やせないごみ  
緑色の指定収集袋に入れる



ちり紙、生ごみ、割りばし、食べ残し  
◎燃やせるごみ  
黄色の指定収集袋に入れる



### 私たちが出したごみはどこへ行くの?



市内で収集されたごみ・資源

#### 燃やせるごみは清掃工場へ



#### 焼却されて残った灰



日の出町にあるニツ塚最終処分場内の工場では、エコセメントの原料としてリサイクルされ、ベンチや道路などさまざまな場所に使われています。



エコセメントで作られたベンチ

#### 資源とその他のごみはリサイクルセンターへ



#### リユース・リサイクルされます



私たちが出した燃やせるごみは焼却灰となり、日の出町にあるニツ塚最終処分場内の工場では、エコセメントの原料となっています。また、市では現在、埋め立てごみが発生しないよう燃やせないごみを処理しています。多摩地域ではニツ塚最終処分場に続く最終



ごみ対策課長 太田弘幸

処分場の確保は非常に困難な状況です。処分場を1日でも長く使うためには、排出されるごみ量自体を減量していくことが重要です。

### ペットボトルの捨て方

ペットボトルは、▶キャップを外す▶ラベルを剥がす▶軽く中をすすぐ▶横につぶす これらを行ってから出してください。

ペットボトルは、足を使うと簡単につぶせます。つぶすときはマット等の上で、スリッパ等を履いて行うと安全です。



つぶしておけばかさが減り、自宅での保管も楽になります

収集時間は排出量や交通事情等により変わります。収集漏れを防ぐために、資源とごみは必ず収集日当日の朝8時までに出してください。(ごみ対策課)